



蝦夷の わりんご

札幌市立平岸西小学校学校便り 臨時号
令和 8年10月 9日
<https://www.hiragishinishi-e.sapporo-c.ed.jp>

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年4月23日に全国の6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。本調査により測定できるのは、子どもたちの学力の一部ではありますが、今回の結果を踏まえて明らかになった本校の子どもたちの学力や学習状況、そして改善の方向を保護者の皆様にお知らせいたします。また、同様の内容をホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

◆全国学力・学習状況調査の内容

(1) 教科に対する調査（実施教科：国語・算数）

◇「知識・技能等」と「活用する力等」を一体的に問う問題

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査（73項目）



【国語】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

『知識及び技能』

- ◆「言語の特徴や使い方に関する事項」
・全国平均を上回っている。
- ◆「情報の扱い方に関する事項」
・全国平均と上回っている。

『思考力、判断力、表現力等』

- ◆「話すこと・聞くこと」
・全国平均とほぼ同程度であるが、下回っている。
- ◆「書くこと」の平均正答率
・全国平均を下回っている。
- ◆「読むこと」の平均正答率
・全国平均を上回っている。

『その他（領域を問わず）』

- ・短答式問題の正答率、無回答率が全国平均を上回っている
- ・記述式問題の正答率、無回答率が全国平均を下回っている。

今回の調査における課題



△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

△引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

△資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

△問題に対する粘り強さ。

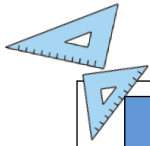
改善の方向



■情報の整理や比較、関連付けをしながら自分の考えをもち、自分の表現を工夫したりする学習活動の充実。

■国語の授業に限らず、考えをもち書き表す場を多く設定することで、考えることや書くことへの抵抗感を減らす学習活動を充実。

■一方向からの見方（一人の見方）で満足せず、自分で表現することに挑戦する文化の醸成



【算数】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

- ◆「数と計算」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、下回っている。
- ◆「図形」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、下回っている。
- ◆「測定」
 - ・全国平均を上回っている。
- ◆「変化と関係」
 - ・全国平均を下回っている。
- ◆「データの活用」
 - ・全国平均を上回っている。

『その他（領域を問わず）』
 ・記述式問題の正答率が全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- △体積の意味と、計算による求める方について理解すること。
- △異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること。
- △示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を記述すること。
- △帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ること。
- △問題に対する粘り強さ。

改善の方向

- 実験や実測を通して量感を得るなど体積の意味を正しく理解し、計算する学習活動の充実。
- 日常場面を題材にした問題を取り上げるなどして、分数や割合の意味と量感を正しく理解する学習活動の充実。
- 資料から必要な情報を見だし、式や図、言葉で数量の関係や求め方を表現する学習活動の充実。
- 最短で正答を求めることが最善とならないように、失敗を歓迎する文化の醸成

児童質問紙（～学習・生活の様子～）



本校の調査結果の概要

全国平均と比較して 肯定的な回答の多いもの

- 毎日同じくらいの時間に寝ていますか。
- 学校の勉強のことにについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。
- 学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。
- 将来の夢や目標を持っていますか。 ○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか。
- あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。
- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。
- 算数の勉強は好きですか。 ○算数の授業の内容はよく分かりますか。
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- 5年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか。
- 英語の勉強は好きですか。

全国平均と比較して 肯定的な回答の少ないもの

- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか。（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
→全国の分布より、使用時間が多い

- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。
- 新聞をどれくらい読んでいますか。

【質問紙の結果から】

学習の話や悩みなどについて話題にしたり共有したりしている御家庭が多いことが分かりました。睡眠などの基本的な生活習慣も含め、安定した生活ができていいるのは、皆様のご協力のおかげと感謝しております。また、将来の夢をもち、「困っている人を進んで助ける」「いじめは絶対によくない」「自分と違う意見について考えるのが楽しい」などの道徳的な姿が多いことも、うれしい結果でした。さらに、ICT 機器の活用、算数の学習に対し、前向きに取り組んでいることも分かりました。

一方で、算数は好きで頑張っているけれど検査結果を見ると課題がある、「SNS や動画視聴」をする時間が全国平均よりも長い、「自分のよいところ」や「学校に行くことの楽しさ」を見付けられていない児童が多いことも気になります。学校として、仲間と過ごす時間が楽しい、みんなと学習すると楽しいと思えるような学級づくり・授業づくりをさらに工夫し、自己肯定感が高まるような場の設定、声掛けなどをしてまいります。



今後も ご家庭にご協力いただきたいこと



○「家庭での学習」において、お子さん自身が目標設定した「ぐんぐん（時間）」の達成に加え、自分の考えや振り返り、更なる疑問などを書くことをお勧めします。できたときは「よくやったね！感心したよ。」などと励ましたり、「その考え、分かる！」などと認めたりすると意欲が高まると思います。「学校ではどんな勉強をしたの？一緒に振り返ろう！」などと、取組の継続を支えるかかわりをお願いします。

○ゲームや動画視聴の時間が長くなっていないか、SNS の多用やトラブルはないかなど、心身の健康のためにも今一度確認をお願いします。

○ご家庭でも、言語に触れる機会、考えをもち最後まで伝える場を増やすかかわりをしていただくと、お子さんの学びの向上につながります。家族の会話などで分かりやすい説明ができたときや、自分なりの考えを伝えられた時には、大いに褒めてあげてください。

※「まほうのかいわ」でお子さんが習慣を身に付けていくようなかかわりをお願いします。

「まほうのかいわ」は、ホームページの「学ぶ力」育成の「家庭での学習」の中に掲載しています。